

I 令和4年度西区支部事例検討研修会 令和4年4月14日(木) 18:30～ 参加申込100名超  
 <西区在宅ケア連絡会 265 回例会、札幌市介護支援専門員連絡協議会西区支部研修会との合同開催 >  
 テーマ:「西区の地域ケア充実におけるケアマネジャーの役割～現状と課題～」

札幌市では、介護保険制度のスタートを目前に控えた 1999 年 10 月にケアマネジャーの自主組織として、情報の共有化、資質の向上、ケアマネ同志の交流を目的に札幌市介護支援専門員連絡協議会が発足しました。(その後 2012 年一般社団法人化) 現在、必要な知識・技能・資質の維持・向上を目指した研修会開催の他、市民向けの啓発活動にも取り組んでいます。

ケアマネジャーは介護保険制度の中核を担う重要な専門職であり、今後、高齢者人口の増加による要介護者の増加に対応するのはもちろんのこと、地域共生時代において地域包括ケアのネットワークをより充実させることが求められており、その役割が非常に重要と確認し合うことが出来ました。ICT の活用や、情報シートの統一化なども提案されました。

講演:「地域包括ケアシステムにおける連携とケアマネジャーの役割」

講師: 札幌市介護支援専門員連絡協議会西区支部 支部長 甲斐洋平さん

|   |  |
|---|--|
| <h3>2040年ってどうなるの</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 団塊ジュニア世代(1971~74年生まれ)が65歳以上になり、高齢者人口がピークになるとされる年。現役世代の急激な減少、</li> <li>○ 85歳以上の高齢者: 全人口の3割に。団塊世代は90歳超える。一介護が必要とまではいなくても、生活のちょっとしたことに困る人が増える。今は…1割くらい、</li> <li>○ 現役世代の減少と未婚率が上がる予想となっており、家族介護を前提とすることは困難となること、8050問題、仕事との両立など…誰がどう支えるの? 一気な高齢者も含めた地域での支援がますます必要となってくる。</li> </ul> | <h3>地域づくり</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2040年、2052年と国は今後のことを見据えています。</li> <li>○ 超高齢化社会となっている現状、地域でどう支援をしていくかが今後ますます重要に。</li> <li>○ 医療・介護の多職種連携だけでは支援しきれない課題を、地域住民や障害支援事業所、インフォーマルサービスも一緒に解決していかなければいけない。</li> <li>○ 地域づくりを地域ぐるみで行っていく必要がある。</li> </ul>   |
| <h3>連携におけるケアマネ・地域包括支援センターの役割</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報の集中先と発信、提供</li> <li>○ 支援方法の検討と提案</li> <li>○ チームの意志統一、支援方法の統一</li> <li>○ 役割分担</li> <li>○ 地域への発信と地域支援</li> <li>○ 新しい資源の開発</li> </ul>   | <h3>地域包括ケアにおけるケアマネの役割</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住み慣れた地域(日常生活圏)で、必要な医療・介護サービス等を継続的、一体的に受けられる体制の構築(地域包括ケアシステム)をするためには、医療と介護連携は必要不可欠。</li> <li>○ 今後、医療の必要度が高いケースが増加するが、長期入院が困難となるため、在宅に戻ってくる。在宅療養生活を支援するためには、医療と介護の役割分担と連携の強化が課題。</li> <li>○ 在宅で自立した生活を継続するためには、医療介護だけではなく多職種連携が必要。</li> <li>○ 在宅での多職種連携を進めるために、ケアマネが情報共有、支援の調整を行う必要。そのためには、ケアマネの質の向上(知識、実践技術、コミュニケーション力など)が必要。一研修を企画し、質の向上に努める。</li> </ul>   |
| <h3>連携方法</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICTの活用→参加できないサービス担当者会議に参加できる可能性も、遠方の家族にも参加してもらえることがあるかも(特に今後は)。統一したシステムの開発なんかも。</li> <li>○ 情報シートの共有→区内で情報共有するために同じシートを利用する。フェイスシートの統一もありかも。</li> <li>○ カンファレンス→情報共有と情報の整理、支援方法の統一、意志統一。</li> <li>○ 地域ケア会議の活用→介護サービスだけでは解決できないこと、視点を変えたり、アドバイスをもらったり。地域の方との情報共有と地域の方の協力。</li> </ul>       | <h3>一般社団法人札幌市介護支援専門員連絡協議会について</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ メインの活動は研修開催<br/>       (1) 協会の協定で、毎年4回の研修の実施<br/>       支部自主研修(年2回)・札幌市からの委託事業(年2回)<br/>       →札幌市がケアマネの質の向上として何が必要かを検討し、協会の研修担当と打ち合わせを行いながら内容を定める。<br/>       今年度より主任ケアマネの質の向上を目指した委託事業を予定<br/>       (2) 協定以外の研修(西区支部自主研修)<br/>       1) 管理者・新人ケアマネの研修<br/>       管理者・新人ケアマネ同士の間でのつながりを作る<br/>       2) ソーシャルワーカー合同研修<br/>       病院ソーシャルワーカーとの間のつながりを作ること、お互いの仕事を再確認しあうことを目的</li> </ul> |
| <h3>地域ケア会議</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 要介護2、発達障害の息子さんと2人暮らし、認知症重度<br/>       地域の方も2人の生活について心配していること、発達障害の息子の支援についてなど検討。<br/>       参加者: 区役所保健師、民生委員、障害の相談支援事業所、地域包括支援センター保健師・社会福祉士、ケアマネ、訪問看護、ヘルパー<br/>       息子さんへの対応を相談支援事業所も急ぎ行っていくなどを確認した。</li> </ul>  | <h3>最後に…</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ケアマネ・地域包括支援センター職員の皆さん、事業所・医療機関からの情報を確認しながら、どんな支援がよいのか日々悩んでいます。</li> <li>○ 多少返事が遅くても、確認事項の返事が遅くても、温かく声をかけていただいで、一緒に、考えてほしいです。</li> <li>○ 良い支援、良い方法が必ず家族や本人が受け入れてくれるわけではありません。信頼関係があっても、受け入れてくれるとは限りません。</li> <li>○ ケアマネだけでは支援はできません。事業所さんや地域支援があってこそケアマネ。各事業所さんに協力いただきながら、一緒に良い支援をしていきましょう!</li> </ul>   |

II 今後の予定

- 西区支部事例検討研修会 令和4年5月19日(木)18:30～ web 開催<西区在宅ケア連絡会との合同開催>  
 「西区地域包括ケアと地域医療構想～北祐会 北海道脳神経内科病院の役割と連携」
- 267 回例会 令和4年6月9日(木)18:30～